世界文学総合目録

全10巻
＋作品名索引

川戸道昭・榊原貴教 編

〈共同出版 2010-2013 刊〉
大空社 / ナダ出版センター

豊富 厖大 詳細 驚異 信頼 便利

〈翻訳大国〉日本の厚みと底力を集約

約10万点

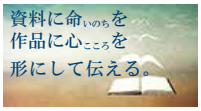
翻訳作品と原作を知る！

徹底した〈現物確認〉
今後これを凌駕する目録は
望めない！

＊作品名から・原作者から探す！ 図版多数

第1巻 イギリス編①(あ～し)
第2巻 イギリス編②(す～は)
第3巻 イギリス編③(ひ～わ・補遺) p.4
第4巻 アメリカ編 p.5
第5巻 フランス編①(あ～ふ)
第6巻 フランス編②(へ～わ) p.6
第7巻 ドイツ編 p.8
第8巻 ロシア編 p.9
第9巻 北欧・南欧諸国編 p.10
第10巻 東欧諸国・中国・インド アラビアン・ナイト編 p.12
世界文学総合目録 作品名索引 p.14

収録論考 p.11
編者紹介 p.11



www.ozorasha.co.jp
学術資料出版
大空社出版

世界文学総合目録

川戸道昭・榊原貴教 編

全10巻＋作品名索引1巻

刊行のことば（抄）

（2010年12月）

翻訳文学の世界はこの百四十年余、文化のグローバル化とその歩みを共にしてきた。世界化した日本の文化環境をふりかえるには、その全容を把握する目録の作製が喫緊の時期にきている。そして、比較文化の視野がさらに高まるならば、現代の経済のグローバル化に対置する新しい文化の世界化の指針も提示できるに違いない。

編者は国立国会図書館の明治期翻訳書のマイクロフィルム化とその目録書の刊行を始めてから二十五年間、新聞雑誌の調査、および明治・大正・昭和の翻訳文献の古書蒐集を重ね、現物にあたりながら原典特定の作業をつづけてきた。ここにその成果として、『世界文学総合目録』全十巻を刊行する。

本書は、明治初年から昭和二十年までに初訳が行われた外国作家を網羅し、その作家の翻訳作品を作品別の目録として編纂する。収録した作家については、本書刊行時までに刊行されたすべての翻訳作品を収録する。百五十年の世界文学総合目録と謳うゆえんである。

『世界文学総合目録』が今後の翻訳研究・文化研究の基本資料として活用されることを願うものである。

第1巻　イギリス編①（あ～し）
第2巻　イギリス編②（す～は）
第3巻　イギリス編③（ひ～わ・補遺）
第4巻　アメリカ編
第5巻　フランス編①（あ～ふ）
第6巻　フランス編②（へ～わ）
第7巻　ドイツ編
第8巻　ロシア編
第9巻　北欧・南欧諸国編
第10巻　東欧諸国・中国・インド
　　アラビアン・ナイト編
世界文学総合目録**作品名索引**

＊国・地域別編成
＊作家・原作者の五十音順配列
＊解説・論考を収録（→11ページ参照）

特色

①図書のみならず新聞・雑誌に掲載されたものまで過去最大約10万点の翻訳作品データを収録。
（原則として小説・戯曲作家を収録し、昭和20年以前に初訳のない作家、および詩人は省く）

②原典を可能な限り特定し、発行〈月〉まで明らかにした充実した書誌情報。

③無視されがちな児童書・文庫までカバーし、多数の新発見資料を収録。

④作家像と挿絵・装幀で、歴史・図像から立体的に翻訳を読み解ける文学事典。

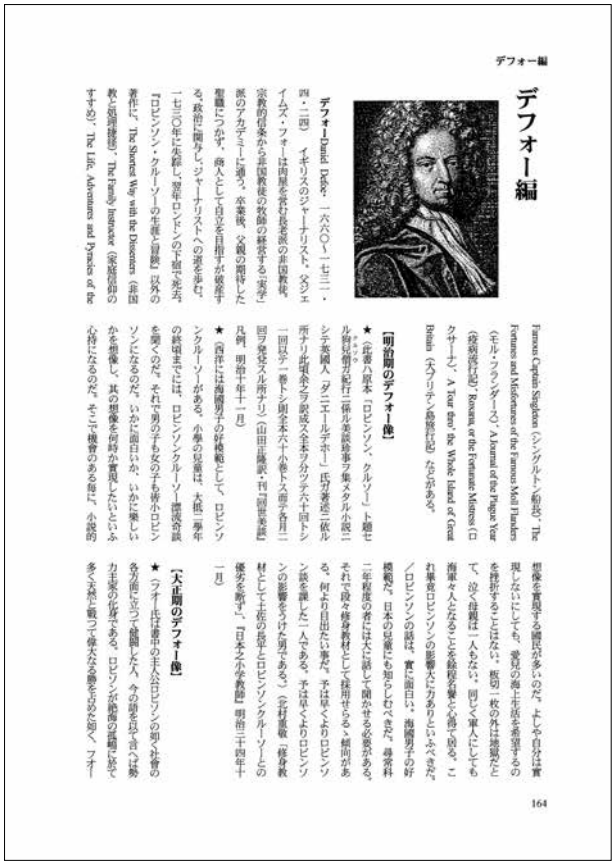
⑤日本における翻訳文学研究の最新論考を収載。

〈共同出版 2010-2013刊〉大空社／ナダ出版センター

基本構成

［作家別］
① 略伝・作家像変遷
② イメージ集
③ 翻訳文献目録

① 原典（代表的資料）に語らせる作家像の変遷


デフォー編

デフォー編

② 貴重図版（挿絵・装幀など）で作家・作品を立体的に理解

デフォー編

デフォー挿絵集

原寸

発表〈月〉まで記載。徹底した現物確認の成果。

デフォー翻訳作品年表

■**企画論**　An Essay upon Projects（1698）

平成6年3月　＊十七世紀末の英国事情（デフォーの社会改善計画）　岩崎泰男訳　京都・同志社大学出版部

■**ヴィール夫人の亡霊**　The Apparition of Mrs. Veals（1706）

昭和45年3月　＊ヴィール夫人の亡霊（岡本綺堂読物選集8　飜訳編下）　岡本綺堂訳　青蛙房

昭和49年2月　＊ミセス・ヴィールの幽霊（『こわい話・気味のわるい話1』）　平井呈一訳　牧神社出版

昭和60年5月　＊ミセス・ヴィールの幽霊（恐怖の愉しみ上）　平井呈一訳　東京創元社　創元推理文庫

昭和62年8月　＊ヴィール夫人の亡霊（世界怪談名作集上）　岡本綺堂訳　河出書房新社　河出文庫

平成8年7月　＊ヴィールの亡霊（『鏡にうかぶ影』）　千葉幹夫文　講談社　青い鳥文庫

■**ロビンソン・クルーソーの生涯と冒険**　The Life and Strange Surprizing Adventures of Robinson Crusoe（1719）

一八四八年　＊漂流紀事　黒田行元訳

一八五七年　＊魯敏遜漂行紀略　横山由清訳

明治5年春　＊英国魯敏孫全傳　斎藤了庵訳・高田義甫校　鉄線書屋蔵版・香芸堂

明治10年11月　＊回世美談（一～四）　山田正隆訳　山田正隆（～11年3月）

明治12年4月　＊九死一生魯敏孫物語　横須賀・橘園迂史訳　驥尾団子（～10月）

明治16年10月　＊英国魯敏孫嶌物語（一名・英国漂流記事）上編　斎藤了庵訳・高田義甫校　川越屋松次郎　『魯敏孫全傳』改題

明治16年12月序　＊魯敏孫漂流記（絶世奇談）　井上勤訳・坂部訓正校訂　博聞社

明治20年3月　＊魯敏孫漂流記（新訳）　牛山鶴堂（良助）訳・跡部正道校補　春陽堂

明治20年11月　＊大人国旅行（南洋漂流）　大久保常吉訳・服部誠一校閲　新古堂

明治21年2月　＊小人国発見録（政治小説）　鳥尾岩太郎訳　松下軍治

明治25年9月　ロビンソン、クルソウ　訳者不記　小国民（～10月）

明治27年3月　＊ロビンソンクルーソー絶島漂流記　高橋雄峯訳　博文館（～4月）　世界文庫第11'13編

『ロビンソン・クルーソーの生涯と冒険』だけで 11 ページに及ぶ。

③・作品（原題付き）を年代順に配列。　・翻訳作品を編年配列。初訳、翻訳の影響関係が見える。（＊＝単行書）

1 イギリス編 ①（あ～し）
2 イギリス編 ②（す～は）
3 イギリス編 ③（ひ～わ・補遺）

ジョイス編

ジョイス編

ジョイス James Augustine Aloysius Joyce（一八八二・二・二～一九四一・一・一三） アイルランドの作家。コーク州の旧地主で、収税吏の

ら、ジョイスはパリに住み、世界大戦後にパリに集まった外国系新作家の中心的人物となる。第二次世界大戦の勃発と共に、スイスに移住するが、一九四一年に十二指腸潰瘍穿孔のためにチューリヒで死去する。

【昭和戦前期のジョイス像】

★『ユリシイズ』が一度刊行されるや、世界文学にその類を見なかった整偉なる面貌と壮烈なる精神は、二十世紀文学に最大なる問題を提出し、本書を除外して新しき文学を云々することを不可能たらしめた。特に英語文学は本書の出現以後、全くその様態を一変し、より若き作家の標語から、古代ギリシャの詩人ホメロスのディツセイとその主人公を地中海の冒険家ディツセイとその主人公を地中海の冒険家ディツセイとその主人公を地中海の冒険家

収録作家・原作者名

アーヴィング W.
アンダソン S.
ウィギン K.D.S.
ウェブスター J.
オー・ヘンリー
オニール E.G.
オルコット L.M.
キャザー W.
クーリッジ S.
ゴールド M.
コールドウェル E.
サローヤン W.
ジェイムズ H.
シンクレア U.B.
スタインベック J.
ストウ夫人 H.E.B.
ソロー H.D.
デル F.
ドライサー T.
ノリス F.
バーネット F.E.H.
バック P.S.
フィッツジェラルド F.S.K.
フォークナー W.
ブロムフィールド L.
ヘミングウェイ E.
ポー E.A.
ホーソン N.
マーク・トウェイン
リード J.
ルイス S.
ロンドン J.

マーク・トウェイン編
マーク・トウェイン編

ポー編
ポー編
ポー挿絵集

ポー編

□**大鴉** The Raven（1845）（「大鴉」の翻訳史については、佐渡谷重信著「論説・日本における「大鴉」の受容と反響、資料・Edgar A. ポー「大鴉」の日本語訳集」（『西南学院大学英語英文学論集』平成十三年八月）に詳説されている。編者は同書の寄贈を受けながら、いまだ詩集については十分確認できないでいる。）

明治21年6月　＊鴉（『ニューナショナル第五読本直訳』）　渡辺松茂訳　大阪・積善館
明治24年5月　＊鴉（『ニューナショナル第五読本直訳（意解挿入）下ノ二』）　元木貞雄訳　文盛堂
明治26年1月　＊怪鴉（『英文学講義録第四巻』）　磯辺弥一郎訳　国民英学会出版局
明治42年4月　＊大鴉（『訳註近世英文学』）　岩野泡鳴訳　有朋堂書店
昭和8年11月　＊大鴉　佐藤一英訳　椎の木社
昭和10年3月　＊大鴉　日夏耿之介訳　野田書房
昭和11年3月　＊大鴉　日夏耿之介訳　エドアァル・マネ絵　訪書書局
昭和21年12月　＊大鴉その他（『あひびき』）　葉河憲吉訳　出水書園
昭和23年2月　＊からす（『移植林（詩集）』）　斎藤博訳編　読書展望社
昭和44年10月　＊鴉その他の詩（『ポー・ホイットマン』）　島田謹二訳　平凡社　世界名詩集21
昭和47年12月　＊大鴉　日夏耿之介訳　ギュスターヴ・字社
平成17年9月　＊大鴉　日夏耿之介訳　沖積舎
平成17年9月　＊大鴉　日夏耿之介訳　ギュスターヴ・ドレ　沖積舎
平成21年6月　＊大鴉（ポー訳詩集）　加島祥造訳　鎌倉・港の人　加島祥造セレクション3

□**マルジナリア** Marginalia（1844）
昭和10年11月　＊覚書（マルジナリア）　吉田健一訳　芝書店
昭和17年2月　マルジナリア　吉田健一訳　批評（＋10月～18年1月）
昭和23年3月　＊マルジナリア　吉田健一訳　創元社　創元選書135
昭和34年7月　＊「マルジナリア」より（『ポオ、ボオドレール』）　吉田健一訳　筑摩書房　世界文学大系33

□**ユリイカ** Eureka（1848）
昭和10年10月　＊ユリイカ　牧野信一・小川和夫訳　芝書店
昭和19年5月　＊ユリイカ（『エドガア・ポオ小説全集別巻・宇宙論、詩論』）　谷崎精二訳　春陽堂書店　〔ユリイカ、詩の原理、詩作の哲理、Bへの手紙、言葉の力、家具の哲理、メルゼルの象棋差し、どうして小さなフランス人は腕を吊帯に掛けてゐるか〕
昭和34年7月　＊ユリイカ（『ポオ、ボオドレール』）　牧野信一・小川

469

（見本 縮小）

5 フランス編①（あ～ふ）

6 フランス編②（へ～わ）

収録作家・原作者名

ヴィニー A.
ヴィルドラック C.
ヴェルヌ J.
ゴーチェ T.
サン＝テグジュペリ A.
サンド G.
サン＝ピエール J.H.B. de
ジッド A.
シャトーブリアン F.R. de
シュー E.
スタンダール
ゾラ E.
デュマ・フィス A.D. fils
デュマ・ペール A.D. père
ドーデ A.
ドーノワ夫人 M.C. le J. de B.
バルザック H. de
バルビュス H.
フィリップ C.-L.
フランス A.
プルースト M.
プレヴォー abbé
フローベール G.
ペロー C.
ボーモン夫人 M.L. de
マルロー A.
マロ H.H.
ミュッセ A. de
メリメ P.
モーパッサン H.-R.-A.-G. de
モリエール
ユゴー V.M.
ラディゲ R.
ルソー J.J.
ルナール J.
ロスタン E.
ロチ P.

サン＝テグジュペリ編

三笠書房

昭和31年11月 ＊戦う操縦士 堀口大学訳 新潮社 新潮文庫

昭和59年1月 ＊戦う操縦士（『サン＝テグジュペリ著作集2』） 山崎庸一郎訳 みすず書房

平成12年9月 ＊戦う操縦士 山崎庸一郎訳 みすず書房 サン＝テグジュペリ・コレクション4

■星の王子さま Le petit prince（1943）

昭和28年3月 ＊星の王子さま（プチ・プランス） 内藤濯訳 岩波書店 岩波少年文庫53

昭和53年10月 ＊星の王子さま（プチ・プランス ちきゅうのおともだち） 朝日ソノラマ テレビ名作まんが

平成5年4月 ＊星の王子さま 内藤濯訳 岩波書店 岩波世界児童文学集1

平成10年6月 ＊星の王子さま 内藤濯訳 岩波書店 〔CD-ROM〕

平成12年11月 ＊おうじさまの1・2・3 川口恵子訳 岩波書店 はじめての星の王子さま＝Collection les amis du petit prince

平成12年11月 ＊おうじさまのいちにち 川口恵子訳 岩波書店 はじめての星の王子さま＝Collection les amis du petit prince

平成12年11月 ＊ぼくのおともだち 川口恵子訳 岩波書店 はじめての星の王子さま＝Collection les amis du petit prince

平成12年11月 ＊ぼくはおうじさま 川口恵子訳 岩波書店 はじめ

平成17年6月 ＊星の王子さま 三野博司訳 論創社 Ronso fantasy collection 1

平成17年6月 ＊星の王子さま（新訳） 小島俊明訳 中央公論新社

平成17年7月 ＊星の王子さま（新訳） 倉橋由美子訳 宝島社

平成17年8月 ＊小さな王子さま 山崎庸一郎訳 みすず書房

平成17年8月 ＊星の王子さま（新訳） 池澤夏樹訳 集英社

平成17年8月 ＊星の王子さま 池澤夏樹訳 集英社 集英社文庫

平成17年10月 ＊小さな王子（新訳『星の王子さま』） 藤田尊潮訳 八坂書房

平成17年10月 ＊プチ・プランス（新訳星の王子さま） 川上勉・廿樂美登利訳 グラフ社

平成17年12月 ＊星の王子さま 石井洋二郎訳 筑摩書房 ちくま文庫

平成17年12月 ＊星の王子さま（「新」訳） 辛酸なめ子訳・絵 コアマガジン

平成18年1月 ＊星の王子さま 稲垣直樹訳 平凡社 平凡社ライブラリー562

平成18年3月 ＊星の王子さま 小島俊明訳 中央公論新社 中公文庫

平成18年4月 ＊星の王子さま 河野万里子訳 新潮社 新潮文庫

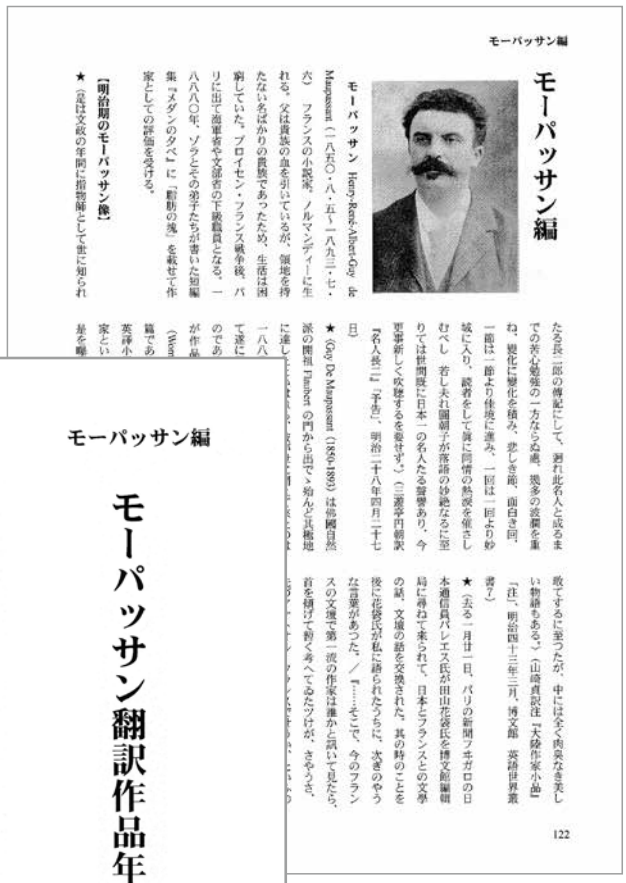
平成18年5月 ＊小さな星の王子さま 河原泰則訳 春秋社

平成18年6月 ＊対訳フランス語で読もう「星の王子さま」 小島俊明訳注 第三書房

サン＝テグジュペリ編

サン＝テグジュペリ挿絵集

「モーパッサン』だけで
約 130 ページに及ぶ。



モーパッサン編

モーパッサン翻訳作品年表

■剥製の手　La main d'écorché（1875）

明治44年5月　死人の手　山本迷羊訳　帝国文学

昭和23年10月　＊手首の怪（『悪魔伯夫人』）　勝見勝訳　共立書房

昭和25年4月　＊剥製の手（『脂肪の塊』）　岡田真吉訳　白水社

昭和30年6月　＊剥いだ手（『モーパッサン全集』1）　岡田真吉訳　春陽堂書店

昭和40年9月　＊剥製の手（『モーパッサン全集』2）　青柳瑞穂訳　春陽堂書店

昭和59年1月　＊夜歩く手（『世界こわい話ふしぎな話傑作集』7）　榊原晃三訳　金の星社

■ココ、ココ、冷たいココはいかが！　Coco, Coco, coco, frais!（1876）

昭和30年6月　＊ココ、冷たいココはいかが（『モーパッサン全集』1）　村上菊一郎訳　春陽堂書店

昭和40年9月　＊ココ、ココ、冷たいココはいかが！（『モーパッサン全集』2）　村上菊一郎訳　春陽堂書店

■聖水授与者　Le donneur d'eau bénite（1876）

大正3年10月　＊聖水守（『森の中』）　小形青村訳　文影堂（発売禁止）

昭和15年10月　＊聖水授与（『メゾン・テリエ』）　河盛好蔵訳　岩波書店　岩波文庫

昭和16年5月　＊聖水授与者（『モーパッサン選集』1）　河盛好蔵訳　河出書房

昭和22年12月　＊聖水授与者（『メゾン・テリエ』）　河盛好蔵訳　京都・世界文学社　世界文学叢書23

昭和23年9月　＊親ごゝろ（『モオパッサン短篇集』）　秋田滋訳　日本社（日本文庫）

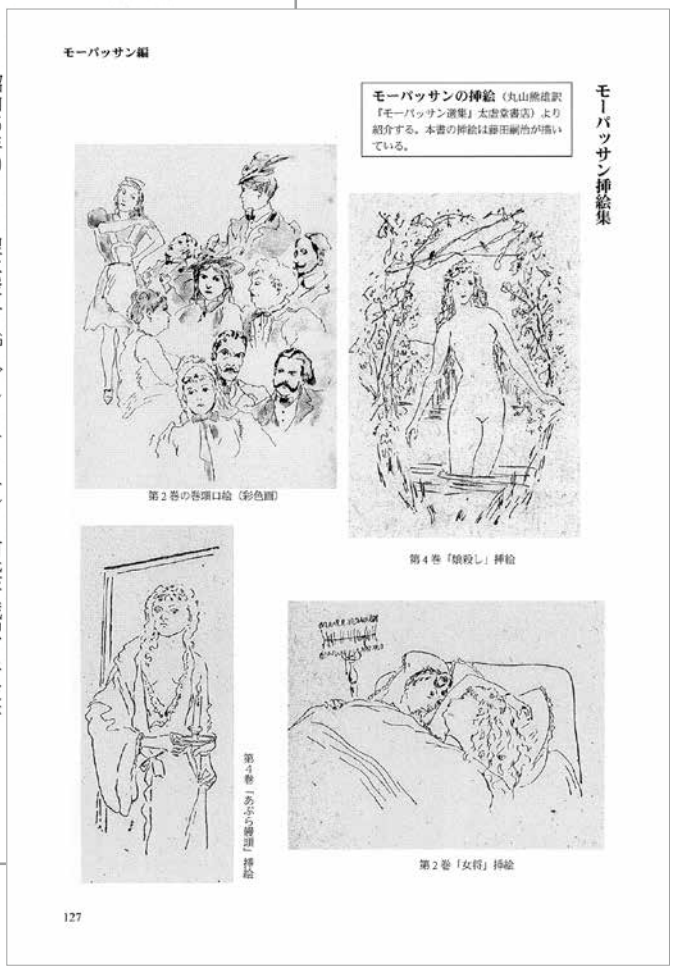
昭和25年10月　＊聖水授与者（『モーパッサン文庫』1）　河盛好蔵訳　小山書店

昭和26年6月　＊聖水授与者（『モーパッサン短篇集』）　新庄嘉章訳　小峰書店　少年少女のための世界文学選15

昭和28年11月　＊聖水を汲む男（『モーパッサン短篇集』）　大崎正二訳　創人社　世界名作選集

昭和30年6月　＊聖水授与者（『モーパッサン全集』1）　新庄嘉章訳　春陽堂書店

昭和31年3月　＊聖水授与者（『モーパッサン短篇集』5）　河盛好蔵



モーパッサン編

モーパッサン挿絵集

モーパッサンの挿絵（丸山熊雄訳『モーパッサン選集』太陽堂書店）より紹介する。本書の挿絵は藤田嗣治が描いている。

第2巻の巻頭口絵（彩色画）

第4巻「娘殺し」挿絵

第4巻「あぶら屑」挿絵

第2巻「女将」挿絵

127

（見本 縮小）

収録作家・原作者名

ヴェーデキント F.
カフカ F.
クライスト H. von
ゲーテ J.W. von
シャミッソー A. von
シュトルム H.T.
シラー J.C.F.
ズーダーマン H.
ティーク J.L.
ニーチェ F.W.
ハウフ W.
ヴェーデキント F.
ハウプトマン G.H.
ビュルガー G.A.
ヘッベル F.
マン T.

ゲーテ編

ゲーテ Johann Wolfgang von Goethe（一七四九・八・二八～一八三二・三・二二）ドイツの詩人、小説家、劇作家、フランクフルト・アム・マインに職人の家系をもち旅館業を営むヨハン・カスパルの子として生れる。ライプチヒおよびシュトラスブルクの大学で法律学を学び、弁護士となる。一七七五年、ワイマール公に賓客として招かれ、翌年ワイマールの枢密顧問官となり一終生その地に定住する。作品としては、『若きウエルテルの悩み』『ヴィルヘルム・マイスターの修行時代』『イタリア紀行』『ヘルマンとドロテーア』、『ファウスト』などがある。

【明治期のゲーテ像】

★（予が従来述作の本旨を知れる人々の、この譯書を観るや、或は以て機運を越るの尸祝となさむ、然れども、予の「ゴルテル」に於けるや、恋た久しきのみ、／さきに五域の學窓に在りしとき、此書の案譯は、予が愛讀書の一なりき、な記す、かつて筆を避けて、菖蒲の酒に放浪し、向を抱いて、蔵壬山腹の退筑に留滞せしとき、酔つて唱ふ。

其餘来を略記して、序文に代ふ。／初め余輩は、其獲に翻刻略註したる本譯ファウストを本文とし獲迭の原本を参考として、之が翻譯をなさんと欲したりしが、曙間に於て既に其不可なるを發見したり、并は他なし、解文翻譯は音節（〈ルヒ〉）解字等の爲めに、屢々無用の文字を增神せざるを得ず、在々有用の文字を省略せざるを得されば也、其甚だしきに至りては、曰ライポツイのイニーイッドの如く、ポーブのイリアドの如く、

ゲーテ挿絵集

カフカ編

カフカ Franz Kafka（一八八三・七・三～一九二四・六・三）チェコのプラハ市ユダヤ人の商人の子として生れる。教養を受け、プラハ大学に入る。ローいい、法律を専攻する。労働者傷害保険協会に就職する。勤務のかたわら恋愛する女性サークルに参加し、文学に入る。一九二三年協会を退職に従れる。この間、病が悪化し、ウイナートリウムに入院する。

【昭和期のカフカ像】

★（フランツ・カフカ（三三～二四）の名前はいまだ世間に広ってゐる。本稿執筆十二月に発稿された高橋慶氏の「最近のフランス」に於いても、カフカの『変身』や、サルトルの『嘔吐』が最高的な虚無主義の傾向として取り上げられてゐることが紹介されてゐる。アルデー・フランセエスに載つたエドモン・ジャルロは、『カフ

ルリンのサナトリウムで結核のために

の短いを遺を終つた、／カフカはその

古臭の短い作品しか出さなかつたが、

ねに自分の作品を発表することを恐れ

れ、死に臨んでもその友人マックス・

に自分の作品は焼却しないでほしいと

といふが、ブロッドはカフカの遺言

死後その作品を発表した。／一カフ

つの代表作があり、『変身』の三作に

る。『変身』は、アメリカに渡つた

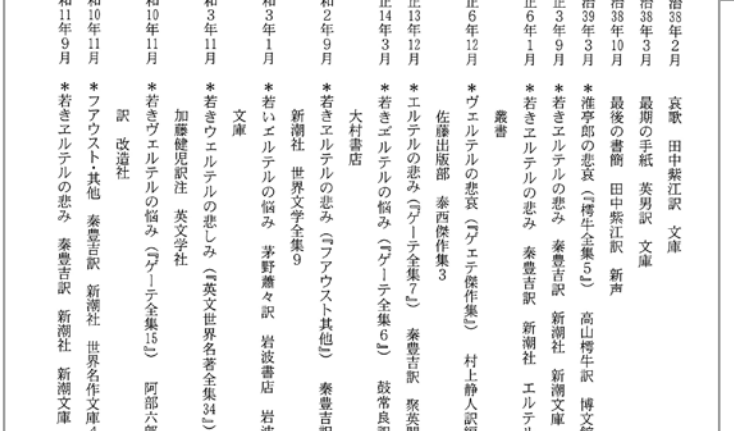
カフカ編

カフカ挿絵集

問審

カフカ・ツンラフ

土屋光司訳『審問』（『セルパン』昭和14年5月）本文



ゲーテ編

明治38年2月　哀歌　田中紫江訳　文庫
明治38年3月　最期の手紙　英男訳　文庫
明治38年10月　最後の書簡　田中紫江訳　新声
明治39年3月　＊淮亭郎の悲哀（『樗牛全集5』）　高山樗牛訳　博文館
大正3年9月　＊若きエルテルの悲み　秦豊吉訳　新潮社　新潮文庫
大正6年1月　＊若きエルテルの悲み　秦豊吉訳　新潮社　エルテル叢書
大正6年12月　＊ヴェルテルの悲哀（『ゲエテ傑作集』）　村上静人訳編　佐藤出版部　泰西傑作集3
大正13年12月　＊エルテルの悲み（『ゲーテ全集7』）　秦豊吉訳　聚英閣
大正14年3月　＊若きエルテルの悩み（『ゲーテ全集6』）　鼓常良訳　大村書店
昭和2年9月　＊若きエルテルの悲み（『ファウスト其他』）　秦豊吉訳　新潮社　世界文学全集9
昭和3年1月　＊若いエルテルの悩み　茅野蕭々訳　岩波書店　岩波文庫
昭和3年11月　＊若きウェルテルの悲しみ（『英文世界名著全集34』）　加藤健児訳注　英文学社
昭和10年11月　＊若きヴェルテルの悩み（『ゲーテ全集15』）　阿部六郎訳　改造社
昭和10年11月　＊ファウスト・其他　秦豊吉訳　新潮社　世界名作文庫4
昭和11年9月　＊若きエルテルの悲み　秦豊吉訳　新潮社　新潮文庫
昭和12年9月　＊若きヴェルテルの悩み（訳注）　高橋健二訳　郁文堂
昭和13年1月　＊若きウェルテルの悩み　木村謹治注訳　独逸文学叢書　出版部　訳注独逸文芸叢書
昭和17年8月　＊若きエルテルの悩み（『ゲーテ全集7』）　鼓常良訳　書刊行会　独逸文学叢書第1輯
昭和18年1月　＊若きウェルテルの悩み　沢西健訳　白水社　大東出版社
昭和18年1月　＊若きヴェルテルの悩み　沢西健訳　白水社
昭和22年8月　＊若きエールテルの悩み（『ゲーテ全集1』）　佐藤通次訳　京都・丁子屋書店
昭和22年8月　＊若きヴェルテルの悩み　渡辺格司訳　富士出版　富士選書
昭和22年8月　＊若きヴェルテルの悩み　阿部六郎訳　改造社　改造選書
昭和22年8月　＊若きヴェルテルの悩み　鼓常良訳　桃山書林
昭和22年8月　＊若きエルテルの悲しみ　秋山六郎兵衛訳　金鈴社
昭和22年☆月　＊若きヴェルテルの悩み　高橋健二訳　郁文堂
昭和23年5月　＊若きヴェルテルの悩み（三版）　高橋健二訳　蓍樹社
昭和23年6月　＊若きウエルテルの悩み（『ゲーテ全集8』）　国松孝二訳　育生社
昭和23年6月　＊若きヴェールテルの悩み　吉井晃訳　泰尚社
昭和23年6月　＊若きウエルテルの悩み　木村謹治訳　第三書房

カフカ編

昭和27年6月　変身　高橋義孝訳　新潮
昭和27年7月　＊変身　高橋義孝訳　新潮社　新潮文庫
昭和27年7月　＊変身　中井正文訳　角川書店　角川文庫
昭和28年7月　＊変身（『カフカ全集3』）　高橋義孝訳　新潮社
昭和28年12月　＊変身（『現代世界文学全集26・フランツ・カフカ』）　中井正文訳　三笠書房
昭和29年7月　＊変身（『現代世界文学全集7・フランツ・カフカ』）　高橋義孝訳　新潮社
昭和33年1月　＊変身（『変身、他一篇』）　山下肇訳　岩波書店　岩波文庫
昭和35年4月　＊変身（『世界文学大系58・カフカ』）　原田義人訳　筑摩書房
昭和36年10月　＊変身（『世界名作全集11』）　原田義人訳　筑摩書房
昭和37年3月　＊変身（『世界文学全集29』）　原田義人訳　河出書房新社
昭和39年1月　＊変身（『世界文学全集48』）　高橋義孝訳　新潮社
昭和41年4月　＊変身（『世界の文学39』）　辻瑆訳　中央公論社
昭和41年8月　＊変身（『ドイツの文学7・カフカ』）　高本研一訳　三修社
昭和42年1月　＊変身（『世界文学珠玉集』）　高橋義孝訳　文芸増刊号
昭和42年9月　＊変身（『世界文学全集2―17・カフカ』）　原田義人訳　河出書房
昭和42年10月　＊変身（『世界文学全集37・カフカ、リルケ』）　高安国世訳　講談社
昭和43年3月　＊変身（『世界文学全集（カラー版）38』）　原田義人訳　河出書房
昭和45年10月　＊変身（『新潮世界文学38・カフカ』）　高橋義孝訳　新潮社
昭和46年7月　＊変身（『変身・判決・断食芸人、ほか二編』）　高安国世訳　講談社　講談社文庫
昭和46年10月　＊変身（『世界文学ライブラリー24』）　高安国世訳　講談社
昭和47年8月　＊変身（『筑摩世界文学大系65・カフカ』）　原田義人訳　筑摩書房
昭和48年1月　＊変身（『変身』）　川崎光隆訳　旺文社　旺文社文庫
昭和49年5月　＊変身（『世界文学全集30・リルケ、カフカ』）　城山良彦訳　集英社
昭和50年9月　＊変身（『近代世界文学29・カフカ』）　原田義人訳　筑摩書房
昭和52年12月　＊変身（『世界文学全集33・カフカ』）　立川洋三訳　学習研究社
昭和52年12月　＊変身（『若きヴェルテルの悩み・マルテの手記・変身』）　原田義人訳　筑摩書房　Chikuma classics
昭和54年1月　＊変身（『世界文学全集74・カフカ、ヴァルザー』）　城

収録作家・原作者名

アンドレーエフ L.N.
オストローフスキイ（A・N）
オストローフスキイ（N・A）
ガルシン V.M.
クプリーン A.I.
ゴーゴリ N.V.
コロレンコ V.G.
ゴンチャローフ I.A.
ショーロホフ M.A.
チェーホフ A.P.
ツルゲーネフ I.S.
ドストエフスキー F.M.
トルストイ（A・K）
トルストイ（A・N）
トルストイ L.N.
プーシキン A.S.
ブーニン I.A.
レールモントフ M.Y.

昭和33年8月 ＊「未成年」創作ノート（『ドストエーフスキイ全集（決定版）19』） 米川正夫訳 河出書房新社
昭和44年11月 ＊「未成年」創作ノート（『ドストエーフスキー全集11』） 米川正夫訳 河出書房新社
昭和55年8月 ＊「未成年」創作ノート（『決定版ドストエフスキー全集27』） 工藤精一郎・安藤厚訳 新潮社
平成3年6月 ＊「未成年」創作ノート（『ドストエフスキー全集19A』） 小沼文彦訳 筑摩書房

■カラマーゾフの兄弟 Братья Карамазовы（1879-1880）

大正2年5月 カラマゾフ兄弟（梗概） 播磨橘吉訳 早稲田文学
大正2年11月 翻訳（カラマーゾフ兄弟） 川合胡冬・佐藤蓼雲訳 文芸雑誌〔付、森田草平「翻訳撰後の所感」〕
大正3年10月 ＊カラマゾフ兄弟（1・2） 三浦関造訳 金尾文淵堂
大正3年10月 ＊カラマーゾフの兄弟 米川正夫訳 新潮社 世界大著物語叢書5
大正4年4月 ＊カラマゾフ兄弟 森田草平訳 日月社
大正4年10月 ＊カラマーゾフ兄弟 広津和郎訳 天弦堂
大正7年1月 ＊カラマゾフの兄弟（下） 山内封介訳 新潮社 ドストエーフスキイ全集1
大正7年1月 ＊カラマゾフの兄弟（上） 広津和郎訳 ドストエーフスキー全集刊行会・冬夏社 ドストイエーフスキー全集7
大正10年7月 ＊カラマゾフの兄弟（下） 広津和郎訳 ドストイエーフスキー全集刊行会・冬夏社 ドストイエーフスキー全集8
大正11年8月 ＊カラマーゾフ兄弟（胴色） 伊藤松雄訳 新潮社
大正12年5月 ＊カラマゾフ兄弟 北川劉吉訳 上方屋出版部 近代名著物語叢書11
大正13年2月 ＊カラマゾフ兄弟（復興版） 森田草平訳 三星出版部
大正14年10月 ＊改訳カラマゾフの兄弟1 米川正夫訳 新潮社 ドストエーフスキイ全集1
大正15年2月 ＊改訳カラマゾフの兄弟2 米川正夫訳 新潮社 ドストエーフスキイ全集1
大正15年3月 ＊カラマゾフ家の兄弟（上）（『ドストイエーフスキー全集11』） 広津和郎訳 ドストイエーフスキー全集

■幌馬車 Коляска（1836）小説

大正7年10月 幌馬車 針替彌作訳 新日本
大正11年1月 ＊幌馬車（『露西亜二十一人集』） 菊池仁康訳 善文社
昭和9年7月 ＊馬車（『ゴオゴリ全集4』） 横田瑞穂訳 ナウカ社
昭和11年9月 ＊馬車 平井肇訳 山本書店 山本文庫41
昭和12年2月 ＊馬車（『肖像画・馬車』） 平井肇訳 岩波書店 岩波文庫
昭和15年5月 ＊馬車（『ゴオゴリ全集4』） 横田瑞穂訳 ゴオゴリ全集刊行会
昭和23年5月 ＊馬車で失敗した話（『鼻が逃げだした話』） 鈴木隆訳 赤松俊子絵 国民図書刊行会
昭和25年6月 ＊馬車（『世界文学全集第1期（19世紀篇）23・ゴーゴリ集』） 平井肇訳 河出書房
昭和28年3月 ＊幌馬車（『ロシヤ短篇集』） 横田瑞穂訳 河出書房市民文庫
昭和29年12月 ＊幌馬車（『ゴーゴリ全集2』） 横田瑞穂訳 河出書房
昭和51年9月 ＊幌馬車（『ゴーゴリ全集3』） 横田瑞穂訳 河出書房新社
平成8年3月 ＊馬車（『ゴオゴリ全集4』） 横田瑞穂訳 日本図書センター〔ナウカ社（昭和9年刊）の複製〕
平成23年8月 ＊幌馬車（『逃』） 横田瑞穂訳 ポプラ社 百年文庫88

■鼻 Нос（1836）小説

大正13年4月 鼻 相良正康訳 露西亜文学
昭和3年1月 ＊鼻（『世界文学全集24・露西亜三人集（チェーホフ、ゴリキー、ゴーゴリ）』） 原久一郎訳 新潮社
昭和8年6月 ＊鼻（『外套、他二篇』） 伊吹山次郎訳 岩波書店 岩波文庫
昭和9年7月 ＊鼻（『ゴオゴリ全集4』） 八住利雄訳 ナウカ社
昭和13年1月 ＊鼻（『外套・鼻』） 平井肇訳 岩波書店 岩波文庫
昭和14年4月 ＊鼻（『隊長ブーリバ』） 原久一郎訳 新潮社 新潮文庫
昭和15年5月 ＊鼻（『ゴオゴリ全集4』） 八住利雄訳 ゴオゴリ全集刊行会
昭和22年1月 ＊鼻（『外套、他二編（ゴーゴリ短篇集）』） 大塚博人訳 高山書院 ロシア文学叢書
昭和22年6月 ＊鼻（『ゴーゴリ全集3』） 原久一郎訳 霞ケ関書房
昭和23年5月 ＊鼻が逃げだした話（『鼻が逃げだした話』） 鈴木隆訳 赤松俊子絵 国民図書刊行会
昭和25年2月 ＊鼻（『狂人日記、外三篇』） 横田瑞穂訳 日本評論社世界古典文庫
昭和25年6月 ＊鼻（『世界文学全集第1期（19世紀篇）23・ゴーゴリ集』） 平井肇訳 河出書房
昭和29年12月 ＊鼻（『ゴーゴリ全集2』） 横田瑞穂訳 河出書房

（見本 縮小）

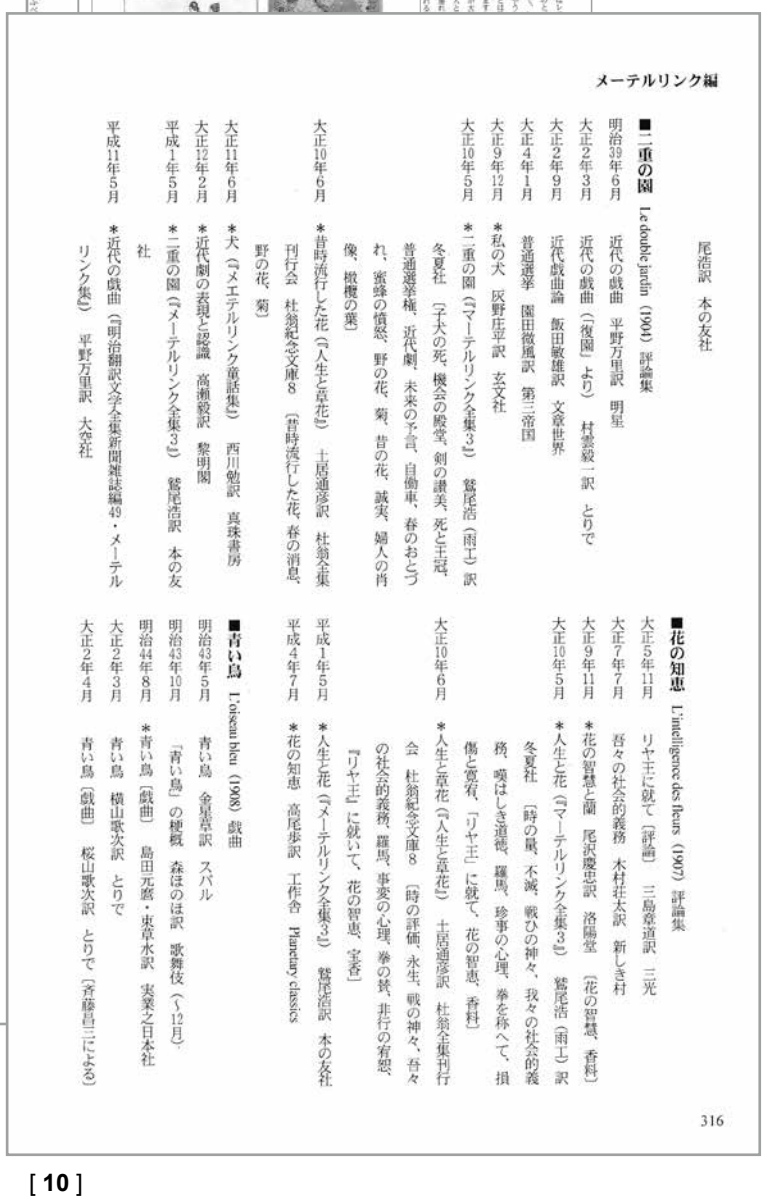
収録作家・原作者名

【北欧編】

アンデルセン　H.C.
イプセン　H.J.
ストリンドベリ　J.A.
ハムスン　K.
メーテルリンク　M.
ヤコブセン　J.P.
ラーゲルレーヴ　S.O.L.
ローデンバック　G.

【南欧編】

アラルコン　P.A. de
イソップ
コッローディ　C.
セルバンテス　M. de
ダヌンツィオ　G.
ダンテ・アリギエーリ
デ・アミーチス　E.
ピランデッロ　L.
ブラスコ・イバニェス　V.
ボッカッチョ　G.
モラエス　W. de



（見本 縮小）

《収載論考》

〈第1巻収載〉
叢書でたどる明治・大正の翻訳文学（川戸道昭）
大正期外国文学叢書総覧（川戸）

〈日本における翻訳文学研究〉

〈第6巻収載〉
言文一致と明治の翻訳文学　「である」文の成立に果たした翻訳文学の役割（川戸）

〈第8巻収載〉
ブロンテ姉妹のハワースとイプセンのシーエン　翻訳作品の舞台を歩く（平岡敏夫）
トルストイ遙か　トルストイ文献DB作成に参加して（成田鈴己）
明治期地方紙における翻訳小説　書誌的リソース管見（藤元直樹）

〈第10巻収載〉
近代日本のプーシキン受容史素描（小林実）
森鷗外とイプセン劇　『ジョン・ガブリエル・ボルクマン』『人形の家』受容（金子幸代）
日本人名探偵登場前夜　明治期におけるホームズの受容について（山本いずみ）
本間久雄とワイルド作『獄中記』の翻訳（平田耀子）
英版『アラジン』画像に見るオリエントイメージの混在と融合　日本表象を中心として（千森幹子）
少年少女文学全集と教養形成　戦後の「翻訳」叢書が担う意味（佐藤宗子）

【編者紹介】　＊肩書は刊行時

川戸道昭（かわと・みちあき）　中央大学教授
榊原貴教（さかきばら・たかのり）　ナダ出版センター主宰

「翻訳」を近現代日本の文学・社会総体に底流する文化と位置づけ厖大な資料・文献を調査・収集し、復刻編纂した多数の目録・全集・事典は、多くの読者・研究者に益している。

明治翻訳文学全集《新聞雑誌編》(50巻)、同《翻訳家編》(20巻)。図説 絵本挿絵大事典（3巻）。図説 翻訳文学総合事典（5巻）。図説 児童文学翻訳大事典（4巻）。シェイクスピア翻訳文学書全集（45巻）。児童文学翻訳作品総覧(8巻)。ボードレール:明治・大正期翻訳作品集成(1巻)。「翻訳詩」事典:フランス編（1巻）。資料集成 近代日本語〈形成と翻訳〉（18巻）ほか［1990年代～2016年刊。詳細は大空社出版ホームページ］

これらは〈すべて現物を確認する〉徹底した実証主義で貫かれており（本書『世界文学総合目録』全11巻も同様）、時を経ても不変の信頼性を有している。

10 東欧諸国・中国・インド アラビアン・ナイト編

収録作家・原作者名

【東欧編】
シェンキエヴィッチ　H.
チャペック　K.
ハシェク　J.
モルナール
レイモント　W.S.

【中国編】
呉承恩
施耐庵
蒲松齢
羅貫中
蘭陵の笑笑生
魯迅

【インド編】
カーリダーサ
ジャータカ
タゴール　R.

【アラビアン・ナイト編】
アラビアン・ナイト

チャペック編

チャペック編

チャペック（Karel Čapek（一八九〇・一・九～一九三八・一二・一三））　チェコの作家・ジャーナリスト。東ベヘミア盆地の町マレー・スバトニョビツェで医師の子として生れる。兄ヨゼフはチェコの近代絵画の創始者の一人。カルレ大学哲学を卒業し、ベルリンとパリの大学に留学する。その後、「国民新聞」、「人民新聞」の編集者となる。

〔大正期のチャペック像〕

★〔ロボット〕は近代の機械文明に対する風刺である。作者自身「幻想的メロドラマ」と銘しているように、その題材は一つのメロドラマであるけれども、その場面々々の気分の構成の興創的な魅に対して、その透徹の奇抜で、哲学的思索の豊かな点に対して、文学上の最高標準に到達している傑作である。／この戯曲の原名は「RUR」である。これはロボット製造会社の名「ロッスム宇宙ロボット会社」Rossum Universal Robots の略称なのである。／……作者カレル・チャペックは現代ヒューマニズムの立場からダイ様の名称大をとる。題は、八

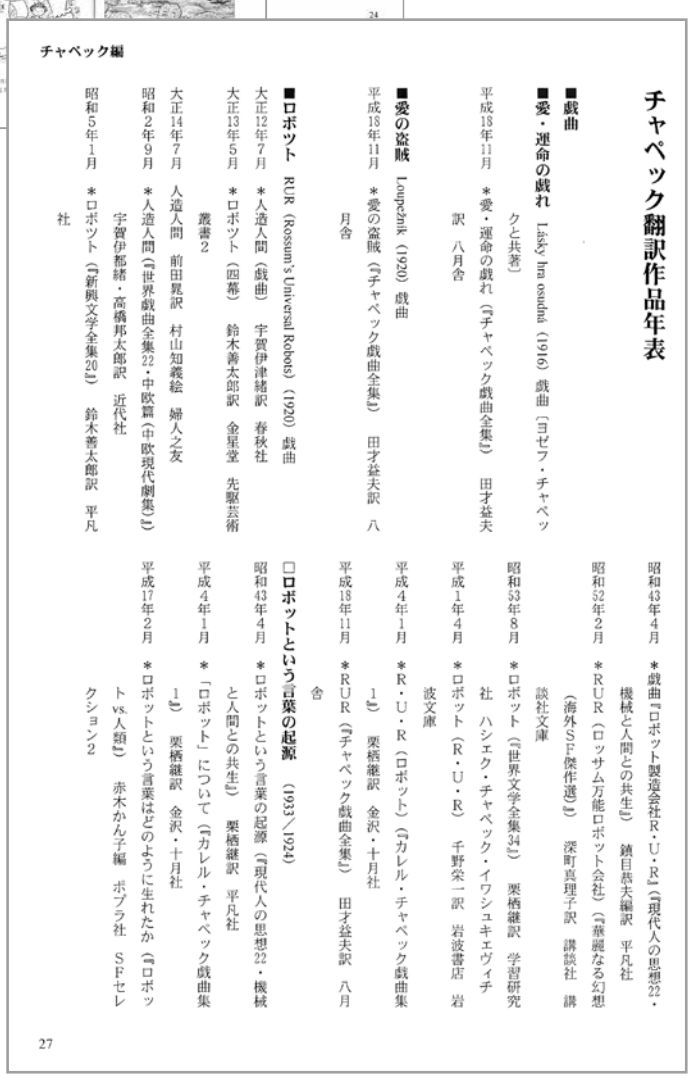
なく、現象すら現う事なく、二十年後にはつかひ捨てされて何の役にも立たないものとなってしまう程高に働く者が、第機械として最も相応に作られたものである。／……作者カレル・チャペック（Karel Čapek）は現代ヒューマニズムの立場からダイ様の名称大をとる。題は、八

チャペック編

チャペック編

カレル・チャペックの童話の作り方

山椒魚戦争


チャペック編

チャペック翻訳作品年表

■戯曲

■愛・運命の戯れ　Lásky hra osudná（1916）戯曲（ヨゼフ・チャペックと共著）

平成18年11月　＊愛・運命の戯れ（『チャペック戯曲全集』）　田才益夫訳　八月舎

■愛の盗賊　Loupežník（1920）戯曲

平成18年11月　＊愛の盗賊（『チャペック戯曲全集』）　田才益夫訳　八月舎

■ロボット　RUR（Rossum's Universal Robots）（1920）戯曲

大正12年7月　＊人造人間（戯曲）　宇賀伊津緒訳　春秋社

大正13年5月　＊ロボット（四幕）　鈴木善太郎訳　金星堂　先駆芸術叢書2

大正14年7月　人造人間　前田晃訳　村山知義絵　婦人之友

昭和2年9月　＊人造人間（『世界戯曲全集22・中欧篇（中欧現代劇集）』）　宇賀伊都緒・高橋邦太郎訳　近代社

昭和5年1月　＊ロボット（『新興文学全集20』）　鈴木善太郎訳　平凡社

昭和43年4月　＊戯曲『ロボット製造会社R・U・R』（『現代人の思想22・機械と人間との共生』）　鎮目恭夫編訳　平凡社

昭和52年2月　＊RUR（ロッサム万能ロボット会社）（『華麗なる幻想（海外SF傑作選）』）　深町真理子訳　講談社　講談社文庫

昭和53年8月　＊ロボット（『世界文学全集34』）　栗栖継訳　学習研究社　ハシェク・チャペック・イワシュキエヴィチ

平成1年4月　＊ロボット（R・U・R）　千野栄一訳　岩波書店　岩波文庫

平成4年1月　＊R・U・R（ロボット）（『カレル・チャペック戯曲集1』）　栗栖継訳　金沢・十月社

平成18年11月　＊RUR（『チャペック戯曲全集』）　田才益夫訳　八月舎

□ロボットという言葉の起源（1933／1924）

昭和43年4月　＊ロボットという言葉の起源（『現代人の思想22・機械と人間との共生』）　栗栖継訳　平凡社

平成4年1月　＊「ロボット」について（『カレル・チャペック戯曲集1』）　栗栖継訳　金沢・十月社

平成17年2月　＊ロボットという言葉はどのように生れたか（『ロボットvs.人類』）　赤木かん子編　ポプラ社　SFセレクション2

鲁迅编

鲁迅编

鲁迅（Lu Xun（一八八一・九・二五～一九三六・一〇・一九））　中国の作家。浙江省紹興の地主兼官僚の長男として生れる。一八九五年父が魯迅の父を一族の罪の犠牲（科挙問題の試験）台帳の工作としての賄賂が発覚し、この時、家は傾き、父は病死する。京の江南水師学堂付設の鉱務鉄路学堂を日本留学に推薦される。一九〇四年、仙台医専に入学する。だが、身体だけは教われない、精神の改革が必要と感じて文学に志を変更する。

【昭和期の魯迅像】

★〔魯迅の肖像〕は、その小説に比して劣る多量である。彼に類似に多いのみではなく、彼はひとたびするものの何倍も多いと思わず、彼はひとしろ小説家としてよりも随筆家として高い評価をとるべき。且つその本質を光分に投稿と思ったとも云へるだろう。／彼の随筆集には「熱風」（第一）「華蓋集」「華蓋集続編」「野草」「朝花夕拾」「而已集」「三閑集」「二心集」「南腔北調集」「伪自由書」「准風月談」「花辺文学」「且介亭雑文」「且介亭雑文二集」「且介亭雑文末編」等がある。大たいは事に関して草稿文全篇」等がある。大たいは事に関して草稿文全篇」等がある。大たいは事に関して

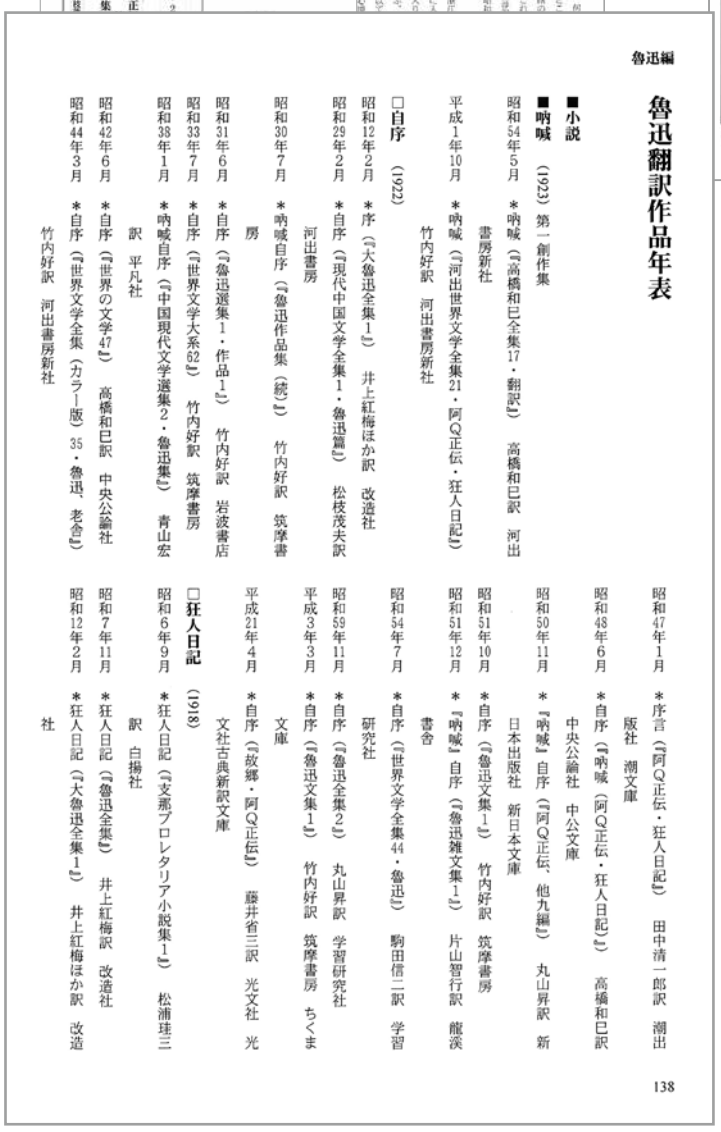
鲁迅编

大魯迅全集

第二巻

東京 改造社發行

中国現代文学選集


鲁迅编

魯迅翻訳作品年表

■小説

■吶喊（1923）第一創作集

昭和54年5月　＊吶喊（『高橋和巳全集17・翻訳』）　高橋和巳訳　河出書房新社

平成1年10月　＊吶喊（『河出世界文学全集21・阿Q正伝・狂人日記』）　竹内好訳　河出書房新社

□自序（1922）

昭和12年2月　＊序（『大魯迅全集1』）　井上紅梅ほか訳　改造社

昭和29年2月　＊自序（『現代中国文学全集1・魯迅篇』）　松枝茂夫訳　河出書房

昭和30年7月　＊吶喊自序（『魯迅作品集（続）』）　竹内好訳　筑摩書房

昭和31年6月　＊自序（『魯迅選集1・作品1』）　竹内好訳　岩波書店

昭和33年7月　＊自序（『世界文学大系62』）　竹内好訳　筑摩書房

昭和38年1月　＊吶喊自序（『中国現代文学選集2・魯迅集』）　青山宏訳　平凡社

昭和42年6月　＊自序（『世界の文学47』）　高橋和巳訳　中央公論社

昭和44年3月　＊自序（『世界文学全集（カラー版）35・魯迅、老舎』）　竹内好訳　河出書房新社

昭和47年1月　＊序言（『阿Q正伝・狂人日記』）　田中清一郎訳　潮出版社　潮文庫

昭和48年6月　＊自序（『吶喊（阿Q正伝・狂人日記）』）　高橋和巳訳　中央公論社　中公文庫

昭和50年11月　＊『吶喊』自序（『阿Q正伝、他九編』）　丸山昇訳　新日本出版社　新日本文庫

昭和51年10月　＊自序（『魯迅文集1』）　竹内好訳　筑摩書房

昭和51年12月　＊『吶喊』自序（『魯迅雑文集1』）　片山智行訳　龍渓書舎

昭和54年7月　＊自序（『世界文学全集44・魯迅』）　駒田信二訳　学習研究社

昭和59年11月　＊自序（『魯迅全集2』）　丸山昇訳　学習研究社

平成3年3月　＊自序（『魯迅文集1』）　竹内好訳　筑摩書房　ちくま文庫

平成21年4月　＊自序（『故郷・阿Q正伝』）　藤井省三訳　光文社　光文社古典新訳文庫

□狂人日記（1918）

昭和6年9月　＊狂人日記（『支那プロレタリア小説集1』）　松浦珪三訳　白揚社

昭和7年11月　＊狂人日記（『魯迅全集』）　井上紅梅訳　改造社

昭和12年2月　＊狂人日記（『大魯迅全集1』）　井上紅梅ほか訳　改造社

138

アラビアン・ナイト編

アラビアン・ナイト編

アラビアン・ナイト挿絵集

タゴール編

タゴール編

タゴール挿絵集

タゴール編

タゴール翻訳作品年表

■戯曲

■苦行者 Prakṛtir Praṭiśodh (1884) 戯曲

昭和57年2月 ＊苦行者（『タゴール著作集6・戯曲集』） 森本達雄訳 第三文明社

■犠牲 Bisarjan (1890) 戯曲

昭和34年8月 ＊犠牲（『タゴール著作集1』） 山室静訳 アポロン社

昭和57年2月 ＊犠牲（『タゴール著作集6・戯曲集』） 山室静訳 第三文明社

■チットランゴダ Citrāṅgadā (1892) 戯曲

大正4年4月 ＊チトラ（『タゴールの哲学と文芸』） 吉田絃二郎訳 大同館書店

大正4年10月 ＊チトラ（『理想』）（『タゴール傑作全集』） 藤森敏訳 文正社

大正4年12月 戯曲チトラ 小林進訳 新人（～5月）

昭和57年2月 ＊チットランゴダ（『タゴール著作集6・戯曲集』） 奈良毅・大西正幸訳 第三文明社

■暗室の王 Rājā (1910) 戯曲

大正4年4月 ＊暗室の王（『タゴールの哲学と文芸』） 吉田絃二郎訳 大同館書店

大正4年4月 ＊暗室の王（『暗室の王（戯曲）』） 磯部泰治訳 新潮社

大正4年10月 ＊闇室の王（『タゴール傑作全集』） 秋田実訳 文正社

昭和57年2月 ＊暗室の王（『タゴール著作集6・戯曲集』） 蛯原徳夫訳 第三文明社

■郵便局 Dākghar (1914) 戯曲

大正4年4月 郵便局（戯曲） 磯部泰治 新人（～5月）

大正4年4月 ＊郵便局（『タゴールの哲学と文芸』） 吉田絃二郎訳 大同館書店

大正4年4月 ＊郵便局（『暗室の王（戯曲）』） 磯部泰治訳 新潮社

大正4年4月 ＊郵便局（戯曲） 小林進訳 東文堂書店

大正4年5月 ＊郵便局（戯曲） 天野徳三訳 近藤書店

大正4年10月 ＊郵便局（『タゴール傑作全集』） 金沢種美訳 文正社

大正5年5月 ＊タゴールの神秘劇（英和対訳） 英語精習社編輯部訳 註 英語精習社 英語多読叢書2

大正15年11月 ＊郵便局（『世界童話大系21』） 小山内薫訳 世界童話大系刊行会

昭和3年8月 ＊郵便局（『世界戯曲全集40・印度・支那劇集・印度支那篇』） 小山内薫訳 近代社（世界戯曲全集刊行会）

昭和5年1月 ＊郵便局（『世界童話劇集（上）』） 小山内薫訳 近代社 世界童話全集

250

アラビアン・ナイト編

アラビアン・ナイト翻訳作品年表

本稿は『児童文学翻訳作品総覧』アラビアン・ナイト編をベースにして、追加調査をして作成した。

■アリババと四十人の盗賊

明治20年1月 四十の山賊 矢野龍渓補訳 郵便報知新聞（7日～15日）

明治20年3月 ＊烈女之名誉（波斯新説） 香夢楼主人（矢野龍渓）訳 村上真助（文泉堂）

明治35年5月 ＊アリババと四十の盗賊 河島敬蔵註釈 大阪・浜本明昇堂 A selected series of English literature No.1

明治37年9月 四十人の盗賊（アラビヤ夜話中の一節） 石原瀧月訳 婦人界

明治42年9月 あーりーばーばーの話 長谷川元吉訳 英語の友（～明治43年7月）

明治43年8月 ＊四十人の泥棒を殺した奴隷の話（『アラビアンナイト（訳註）』） 織戸正満訳 日進堂

明治43年12月 ＊一刀四十分（『世界お伽夜話（原名アラビヤン・ナイト）』） 中村緑水訳 小宮万次郎

明治43年12月 ＊山賊の棲家を荒す、間抜の大泥棒・下婢は福の神（『アラビアンナイト（長楽夜話）』） 矢野運美訳 山本完蔵 英文叢書1

明治44年6月 ＊アリババと四十の強盗（『ポケット新訳アラビヤ物語』） 日野蕨村訳 岡村盛花堂

明治44年9月 ＊アリババ物語 菅野徳助・奈倉次郎訳註 三省堂 青年英文学叢書22

大正2年6月 ＊四十人の盗賊（『アラビヤンナイト（全訳）』） 本間久訳 東亜堂書房

大正3年6月 ＊アリババ物語（教育お伽話） 金城生著 大阪・榎本書店 豆お伽

大正5年1月 ＊アリ・ババの話（『新訳アラビヤンナイト（下）』） 杉谷代水訳 小杉未醒・小林永二郎・岡本帰一絵 富山房 模範家庭文庫2

大正9年1月 アリババ物語 中西赤日庵訳 おとぎの世界（～3月）

大正9年8月 ＊アリ・ババと四十人の盗賊の話（『クリスマス・カロル』） 中島孤島訳 家庭読物刊行会 世界少年文学名作集13

大正10年12月 ＊アリ・ババの物語（『アラビヤンナイト物語（下）』） 少年通俗教育会編 博文館 世界童話4

大正12年3月 ＊アリババのはなし（『アリババのはなし（かんがきひろめかい）』） 片山礼方訳 成蹊学園出版部

大正12年11月 アリババと四十人の泥棒 三宅房子訳 金の星（アラビヤン・ナイト号）

大正12年11月 ＊アリ・ババと四十人の盗賊（『千一夜物語』） 増子義

278

（見本 縮小）

全10巻に収載の約10万点の翻訳作品から邦訳作品名をすべて採録。（13,600余点の作品名）

世界文学総合目録 作品名索引 全1巻

原寸

＊作品名から過去の翻訳作品を探す！ 原作をすぐに確認できる！

た

誰が罪（新散文詩）……ツルゲーネフ ⑧338
誰が罪 Der Verbrecher aus verlorener Ehre……シラー ⑦190
高飛競争 Springfyrene（1845）……アンデルセン ⑨137
高とび選手 Springfyrene（1845）〔高飛競争、跳ぶもの、跳びっこ、とびくらべ、のみとバッタととび人形〕アンデルセン ⑨137
鷹の泉 At the Hawk's Well（1917）〔鷹の井戸〕……イェイツ ①84
鷹の島脱獄囚 Соколиеи（1885）〔樺太脱獄記、サガレン脱走記〕……コロレンコ ⑧99
宝島 Treasure Island（1883）〔黄金島〕……スティーヴンソン ②58
宝妻 Hvad Fatter gjør, det er altid det Rigtige（1861）アンデルセン ⑨206
宝ほり The Gold-Bug（1843）……ポー ④436
宝を探して 'Teem': a Treasure-Hunter〔宝探し犬ティーム〕……キプリング ①251
ダガンソの村長選挙 La eleccion de los alcaldes de Daganço……セルバンテス ⑨454
多感の凱歌 Triumph der Empfindsamkeit（1777）……ゲーテ ⑦98
たきぎ La bûche（1882）〔ゐろり火、独身主義、薪〕……モーパッサン ⑥140
焚き火 To Build a Fire（1908）〔火を焚きつける、火を熾す〕……ロンドン ④581
妥協 The Compromise of the King of the Golden Isles……ダンセイニ ②88
たくみと恋 Kabale und Liebe（1784）……シラー ⑦183
たくらみ Une rouerie（1882）……モーパッサン ⑥161
たくらみと恋 Kabale und Liebe（1784）〔たくみと恋〕シラー ⑦183
凧 The Kite……モーム ③147
凧【風箏（1925）】……魯迅 ⑩164
タゴールの神秘劇 Dākghar（1914）……タゴール ⑩250
多産 Prolificacy……ストリンドベリ ⑨276
舵手 Der Steuermann（1920）……カフカ ⑦56
駄獣 A Beast of Burden……ゴールズワージー ①309
多数者の一人 Один из многих（1887）……チェーホフ ⑧206
助かったわ Sauvée（1885）〔解放、別れ話、命拾ひ〕……モーパッサン ⑥227
助けて！……チャペック ⑩29
助けよ……レフ・トルストイ ⑧591
タズレイの災難 Trouble Down at Tudsleigh（1935）ウッドハウス ①153
黄昏 Sister Carrie（1900）……ドライサー ④255
黄昏れゆく青春 Angelika（1855）……シュトルム ⑦155
ダダ……ジッド ⑤124
タタール人の反乱 Revolt of the Tartars（1837）…ド・クインシー ②193
ただ一度のエマーの嫉妬 The Only Jealousy of Emer（1919）〔やかず聟〕……イェイツ ①84
戦いの前夜 Night Before Battle〔戦闘前夜〕…ヘミングウェイ ④393
戦う操縦士 Pilote de guerre（1942）……サン＝テグジュペリ ⑤76

全10巻総目次

＊原作者から作品を探す！

こんなとき使える！

- 作者名を思い出せないときに
- 原作のタイトル・刊年を確認したいときに
- 同一作品のさまざまな訳題を比較するときに
- 同名邦訳の異なる原作者を知りたいときに
- 既訳があるか確認するときに
- 翻訳したい作品の題を付けるヒントに
- 原作者の原著を一覧したいときに（総目次）

【作品】黒馬物語……443

ジョイス James Joyce（1882-1941）

【略伝、日本におけるジョイス像、ジョイス挿絵集】……446

【作品】ダブリンの人々〔姉妹／出会い／アラビー／イーヴリン／レースのあとで／二人の伊達男／下宿屋／小さな雲／対応／土くれ／痛ましい事件／委員室の独立記念日／母親／恩寵／死者たち〕／若い芸術家の肖像／ユリシーズ／フィネガンズ・ウェイク／亡命者／ジアコモ・ジョイス／詩集〔室内楽、一片詩集〕／猫と悪魔／評論……451

ショー George Bernard Shaw（1856-1950）

【略伝、日本におけるショー像、ショー挿絵集】……466

【作品】非社会的社会主義者／イプセン主義精髄／やもめの家／ウォレン夫人の職業／女たらし／武器と人／カンディダ／運命の人／わからんもんですよ／悪魔の弟子／シーザーとクレオパトラ／完全なるワーグナー主義者／ブラスバウンド船長の回心／人と超人／男は女の夫にどう嘘ついたか／バーバラ少佐／医師のジレンマ／結婚しかけて／ブランコ・ポスネットの暴露／新聞きりぬき／ソンネットの黒婦人／ファニーの処女作／アンドロクレスとライオン／無用の者入るべからず／ピグマリオン／カザリン女皇／ヴィクトリヤ勲章のオーフラーティー／変装のカイゼル／これも国の為め／過激派の女帝／傷心の家／メトセラ時代に帰れ／聖女ジャンヌ／資本主義・社会主義入門／デモクラシー万歳！／ジュニーヴァ／その他……476

シング John Millington Synge（1871-1909）

【略伝、日本におけるシング像、シング挿絵集】……484

【作品】海に行く騎者／谷の影／聖者の泉／アラン島／西の国の人気男／鋳掛屋の婚礼／悲しみのデアドラ／紀行……488

【第二巻　イギリス文学編　②　す～は】

イギリス文学編　②

スウィフト Jonathan Swift（1667-1745）

【略伝、日本におけるスウィフト像、スウィフト挿絵集】……7

【作品】桶物語／ドレイピア書簡／ガリヴァー旅行記／貧家の子女がその両親並びに祖国にとっての重荷となることを防止し、且社会に対して有用ならしめんとする方法についての私案／奴婢訓／その他……13

スコット Sir Walter Scott（1771-1832）

【略伝、日本におけるスコット像、スコット挿絵集】……26

【作品】マーミオン／湖上の美人／ミドロージャンの心臓／春風情話／モントローズ綺譚／アイヴァンホー／ケニルワースの城／お護符／廃鏡物語／パースの小町／寿其徳寄談／詩／その他……35

スターン Laurence Sterne（1713-1768）

【略伝、日本におけるスターン像】……40

【作品】紳士トリストラム・シャンディの生涯と意見／センチメンタル・ジャーニー……41

スタンレー Sir Henry Morton Stanley（1841-1904）

【略伝、日本におけるスタンレー像】……42

【作品】リヴィングストン発見記／暗黒大陸……43

スティーヴンソン Robert Louis Balfour Stevenson（1850-1894）

【略伝、日本におけるスティーヴンソン像、スティーヴンソン挿絵集】……44

【作品】内地の船旅／旅は驢馬をつれて／ねじけジャネット／若い人々のために／吉田寅次郎／新アラビア夜話〔自殺倶楽部／王の金剛石／海辺の仮屋／夜の宿／マレトロア老人の家の門／ギターの使命／その他〕／宝島／死体盗人／子供の歌園／プリンス・オットー／マークハイム／ジキル博士とハイド氏／さらわれたデービッド／メリー・メン／水車小屋のウィル／黒い矢／バラントレイ家の世嗣／箱ちがい／ビンの中の小鬼／難破船／声たちの島／トッド・ラプレイクの話／海を渡る恋／寓話／虜囚の恋／宿なし女／その他……51

スマイルズ Samuel Smiles（1812-1904）

【略伝、日本におけるスマイルズ像、スマイルズ挿絵集】……77

【作品】自助論／西洋品行論／節倹論／職分論／人生と労働／その他……81

ダンセイニ Edward Dunsany（1878-1957）

【略伝、日本におけるダンセイニ像、ダンセイニ挿絵集】……84

【作品】〔戯曲〕アルギメネス王／おき忘れた帽子／神々の笑い／金文字の宣告／光の門／山の神々／女王の敵／アラビヤ人の天幕／旅宿の一夜／妥協／名誉と詩人／もしも／〔小説〕ペガーナの神々／時と神々／ウエレランの剣／夢見る人の物語／驚異の書／五十一話集／驚異の物語／三半球物語／影の谷年代記／エルフランドの王女／魔法使いの弟子／牧神の祝福／魔法の国の旅人／ジョーキンズ・シリーズ／不死鳥を

豊富　厖大　詳細　信頼　便利　　約10万点の翻訳作品と原作を知る！

世界文学総合目録

川戸道昭・榊原貴教 編

全10巻 ＋作品名索引

各巻分売可

各巻定価 26,400 円（本体 24,000 円＋税）

全 11 巻・揃定価 290,400 円
（本体 264,000 円＋税）

〈刊行経過・配本〉

■第 1 回（2010 年 12 月）
第 1 ・ 2 巻　978-4-283-00627-0

■第 2 回（2011 年 6 月）
第 3 ・ 4 巻　978-4-283-00630-0

■第 3 回（2011 年 12 月）
第 5 ・ 6 巻　978-4-283-00633-1

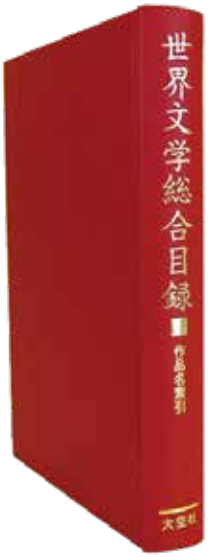
■第 4 回（2012 年 6 月）
第 7 ・ 8 巻　978-4-283-00636-2

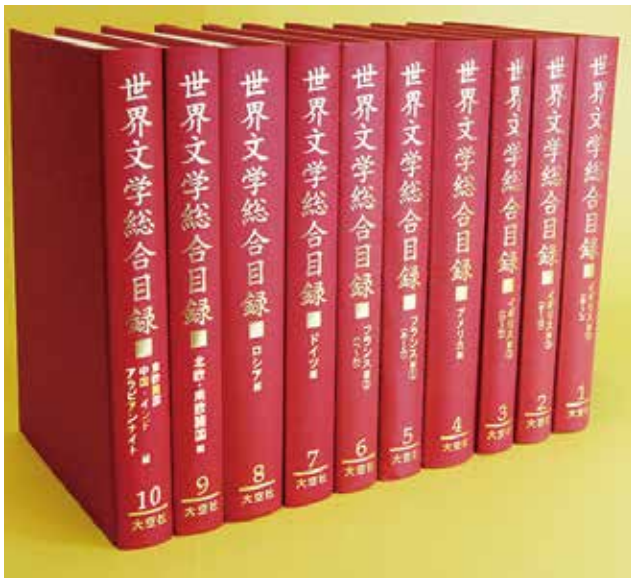
■第 5 回（2012 年 12 月）
第 9 ・ 10 巻　978-4-283-00639-3

■第 6 回（2013 年 4 月）
世界文学総合目録 作品名索引　978-4-283-00643-0

〈共同出版〉大空社 / ナダ出版センター

第 1 巻	イギリス編①（あ～し）	490 頁	978-4-283-00628-7
第 2 巻	イギリス編②（す～は）	410 頁	978-4-283-00629-4
第 3 巻	イギリス編③（ひ～わ・補遺）	310 頁	978-4-283-00631-7
第 4 巻	アメリカ編	580 頁	978-4-283-00632-4
第 5 巻	フランス編①（あ～ふ）	440 頁	978-4-283-00634-8
第 6 巻	フランス編②（へ～わ）	390 頁	978-4-283-00635-5
第 7 巻	ドイツ編	350 頁	978-4-283-00637-9
第 8 巻	ロシア編	650 頁	978-4-283-00638-6
第 9 巻	北欧・南欧諸国編	550 頁	978-4-283-00640-9
第 10 巻	東欧諸国・中国・インド アラビアン・ナイト編	470 頁	978-4-283-00641-6
世界文学総合目録	作品名索引	480 頁	978-4-283-00643-0





［体裁］B5 判・上製・クロス装

翻訳・文学・日本語
目録・事典

＊好評刊行中

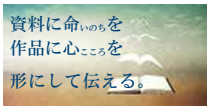
明治翻訳文学全集
新聞雑誌編 全 50 巻・別巻 2/ 翻訳家編 全 20 巻
図説翻訳文学総合事典 全 5 巻
児童文学翻訳作品総覧 全 8 巻
図説 児童文学翻訳大事典 全 4 巻
図説 絵本・挿絵大事典 全 3 巻
「翻訳詩」事典 フランス編
ボードレール 明治・大正期翻訳作品集成
資料集成 近代日本語〈形成と翻訳〉全 18 巻・別巻 1

＊詳細資料進呈

(2023.6)

学術資料出版
大空社出版

東京都北区中十条 4-3-2
（〒114-0032）
TEL:03-5963-4451
FAX:03-5963-4461
eigyo@ozorasha.co.jp



www.ozorasha.co.jp

・お取扱い